

# サイクリング部を振り返って

鈴木道夫(4年)

この4年間を振り返ってみると随分色々な事があった。特に2年の時は、夏合宿をすぼかして一人で長期に渡り走ってきた。今思うと非常に悪い事をしたと思ってるのだが、芝人なこと言うのは少々しゃくにさわるのでやめておこう。

しかし、あの時は、どうしても一人で走りたいか、だし、意義深いものであった。実は、あのツーリングに出発する頃、中学校の時の後輩の女の子が、統一協会の7日間の研修会に出たときであり、ぼくが(芝人なこと何も知らなかったから)、見送りに来てもらおうと思つて葉書を出したら、7days vs. に行つてると言うんで会えません。旅の無事を祈るなんていう返事が来た。結局、吉田に、重い荷物を持ってもらい上野駅で見送ってもらった。(ありがとう)あの頃が人生の分かれ目だったといは……

しかし、たまに一人で走ると、みんなと一緒に走る、というよりは、自転車を放り出してアラブアしたり、キャンプなんてしたくなるものだ。そしてまた少々いやになつて一人で走るのもまたいいもんだ。また、二人で走るのもいい。古本には悪いが、ぼくはよく曹我部と一緒に走つた。彼とはとても気が合いほんとうによく走つたもんだ。あの頃は、やたらと距離を伸ばし、それもやたらとミミズのぬたくらつたようによく走つたものだ。

「もう、何だかたぐさん走らないと損、名所、旧跡はもちろん、<sup>7</sup>  
名の無い気に入、た所と、隅から隅まで走らないと気が済ま  
なかった。人が通らない道(?)はもちろん、人が通ったところ  
まで走らないと気が済まなかった。よく走ったものである。

しかし、あまり同じ人間とばかり一緒に走っていると、だん  
だんと嫌気がさしてくるものである。曾我部とも、お互い表に  
出しはしなかったがそんな時期があったが、またしばらくたて  
ばもとの仲になる。実際人間はパー璧な人、ていうのは少ない  
から、いろいろとゴタゴタがあるものである。しかし、しばらく  
たてば元に戻る。だからいつまでも友達でいたいものだ。

しかし、最近というより3年になつた頃から、あまり(以前  
のように)サイクリングに行かなくなった。ある人は、おんなに  
長々とサイクリングしたので、いやになつたのかと言ったが、  
実際、そういうわけではない。二年の時、おんなな調子で、その  
上学期中もサポーターとしてたから、前期は原る物理、  
後期は電磁気学とたて続けに専門の、そ私も必須科目を落と  
してしまっていた。これでもほくは留年だけはしたくないと、  
二人を見て思、ていたから(これほうろ)、三年の時、少々が人  
ばつた。しかしあの頃から少々力チカラがなくなつてきたので曾我部  
には馬鹿にされてばかりいる。しかし、また力を取り戻すつも  
りであるし、一生は長いものだと思つている。

また、統一協会(原理運動)とつきあってから、少々この辺は  
いかんと思うようになっていた。結局彼らとは、その反社会性  
(というより私の知性が拒否した)のため分かれたが、最初の頃  
は何も知らず結構仲良く笑って話をしていました。しかし、サイ  
クリング部の人間と、原理の人間とつきあっていると、非常  
におもしろい。人間で面白いなあ<sup>何時に</sup>と思う。一方は瑪たはこ、麻  
雀・女(これはばかりは空想?)の話しかを、一方はそんなもの  
とは全く関係なく「天の愛はるおとおさまアメン」とくるから、  
全く対照的というしかない。結局色々あって彼らと別れてから  
もこれではいけないと思っていたところに、金谷さんに現問研  
に誘われたのが、サイクリング部から縁遠くなったはじめりど  
ある。あから色々と公寄を中心にいろんなこと勉強したけど、  
やっぱりああいう真面目な話もしないといけないと思うね。で  
もやっぱりサイクリング部の仲間というのも安心しててもいい。  
だから、今の大学生全般的にも、と色々和社会情勢のこと  
なんかもテレずに話すようにすればいいと思う。サイクリング  
もただしジャーとしてだけというより、もっとせいかく自然の  
中を旅して来る人だから、身の回りの自然にも興味を持ち、い  
い環境を残していこう、ということも考えたいと思う。  
う。実際みんなそう思っていると思いますが。

しかし、2年々ときの長期(400)サイクリングで感じたこと

だけど、やはり身の回りの、ごく身近な自然がいいですね、  
どんなに小さなものであっても、ほくもよく、小さな自然  
が破壊されても大きな自然を残しておけばいいなと思ってい  
たけど、全然ダメな考え方ですね。だからほくも将来、どの地  
域に住むようになるか確定はしてないけど、出来るだけ郷里に  
帰って、地域に根をはった生活をしたと思っている。

ごん存わけです。長々ともう一年教職をとるために留年するこ  
とにしました。3年の頃は留年しないようにと頑張ったのに、  
ちょっとこういう経験ははじめてなんで古本や瀬島を見習って  
がんばろうと思っています。来年教育採用試験受けて、受かた  
ら先生になるつもりでいるけど、ちょっと寂しくなってしまう。  
最初そう決めた頃は全然ごん存なこと感じなかっただけど、研究か  
ら、大学から離れてしまうのは少し寂しいですね。結局大学4  
年間は大して勉強(専門の)しなかったけど、学問に対する愛着、  
ていうのがやはりあるみたいですね。まあ、土井のようにパーフ  
リン(現時点)でも、いつかまた、学問の道に目ざめて、30年  
後には理論物理の大家になっているかもしれないし、ぼくだ  
て、地球電磁気の何とかならないとは断言できない。(た  
し、何でもつまづくだろうけど)。ごん存わけですから来年度  
もまたよろしく。人生は長いから子供が成人したらまた大学院  
に入るかもしれないけど、今年は一応、追いコンされます。The end